

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	史跡海会寺跡広場施設維持管理事業					②事業番号	7620
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	平成 7 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 史跡海会寺跡広場条例等
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	11	細目 1
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部	生涯学習課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 史跡海会寺跡広場	① 施設数	件
② 利用者	② 市の人口	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
国史跡であり、史跡公園として整備されている海会寺跡を、歴史的環境に触れる場として、安全で快適な施設として、清掃など日常的な管理を行う。	① 委託件数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
安全で快適な環境を維持することで、市民に歴史的環境に触れる場と機会を提供する。	① 委託料	円
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市民に、くらしのなかで日常的に歴史的環境に触れる場と機会を提供することで、それを基盤とした文化創造の機運醸成につながる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	5 まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします
	施策中	1 歴史的資産の活用
	施策小	3 歴史的環境に触れる場と機会の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	施設数	件	1	1	1	1	1	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	市の人口	人	63,125	62,549	61,984	—	—	
活動指標①	委託件数	件	2	2	2	2	2	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	委託料	円	865	1,050	892	892	892	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.31	0.60	0.40	0.40		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.30		
	事業費	千円	2,490	4,818	3,243	3,742		—
	直接事業費	千円	4,015	4,180	3,929	3,902		
	総事業費	千円	6,505	8,998	7,172	7,644		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,505	8,998	7,172	7,644		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	国史跡海会寺跡の保存活用を目的として、史跡広場として整備したこと。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	平成7年度のオープン以来、すでに20年以上が経過し、広場の施設に老朽化が進んでいる箇所が増えている。今後、全面的な再整備の必要性がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	施設保全整備事業として広場内照明灯及び復元備品の修繕を行った。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	利用者が歴史的環境に触れる場と機会を提供することが可能となり、当市の歴史的資産を有効に活用することができる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	広場は国史跡に指定されており、教育委員会が広場の管理者となっているため。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	歴史に触れあう場、憩いの広場を提供する事業として市民のニーズに適合するものと考えられる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	国史跡の適切な管理をおこなうことが困難となる。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	社会見学など学校教育における利用者のほか、団体の見学など多数の利用者がある。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	広場をイベント会場に利用するなど新たな活用方法を考える必要がある。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	広場は国史跡に指定されており、教育委員会が広場の管理者となっているため。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	施設の老朽化、植栽の繁茂により維持管理費が年々増加する傾向にある。効率的な維持管理作業の検討が必要である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	神社地でもあるため、公園としての利用料を徴収することは不可能。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当
	B	施設の老朽化と、植栽の繁茂など、年々増加が見込まれるコストに効率的に対応する方策の検討が必要。	B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			効率的な維持管理作業を実施する。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			最低限の維持管理作業を実施するためにも、今年度程度の予算が必要。		